

2022年度 事業報告書

公益財団法人 トトロのふるさと基金

2022年度 事業報告書

公益財団法人 トトロのふるさと基金

1. 公益目的事業

1-1. 土地や文化財の取得事業

ナショナル・トラスト活動を推進するために、寄付の呼びかけを積極的に行うとともに、狭山丘陵の土地等を取得する活動を行った。

(1) トトロのふるさと基金への寄付

2022年度のトトロのふるさと基金への寄付は、1,028件、38,842,819円が寄せられ、基金の累計は総額1,028,477,112円に達した。

(2) トラスト地の取得

新たに次の3か所のトラスト地を取得した。

- ・トトロの森 58号地 4065.16 m² 27,331,700円 2022年5月11日取得
- ・トトロの森 59号地 284.00 m² 908,500円 2022年5月11日取得
- ・トトロの森 60号地 3116.77 m² 25,289,000円 2022年9月8日取得

(3) 新たなトラスト地の取得を目指した活動

地権者等への訪問及び連絡等を行った。以下、例示。

- ・瑞穂町箱根ヶ崎 963の地権者等と打合せ（11月21日ほか）
- ・所沢市北中四丁目 463-9ほかの地権者等と打合せ（10月24日ほか）
- ・東大和市奈良橋一丁目 345-1の地権者と打合せ（10月20日ほか）

(4) 土地等取得検討委員会の開催

土地等取得検討委員会を2回開催した。

- ・書面開催 2022年4月15日 入間市宮寺字東宮寺新田の山林他 計2件の案件を検討
- ・第1回 2023年2月14日 東大和市奈良橋周辺の山林、土地の寄付受け入れ基準（案）他 計5件の案件を検討

1-2. 里山管理事業

1) 里山の管理の実践（里山部会事業）

トラスト地の適正な管理を実践するとともに、狭山丘陵の里山の管理に関して関係団体や行政との協働を進め、地元の農業者との連携を図りながら、地域住民や都市住民を主体とした里山の保全管理活動を行った。

(1) トラスト地等を活用して行う里山管理の実践

雑魚入の森（1・45号地）、4号地、10号地、葛籠入の森（20・34・51号地）、猪入の森（23・35・36号地）、狭山湖北の森（29・38・50・53号地）、39号地、芋窪の森（40・47号地）、泉の森（54号地）、57号地において、毎月第一日曜日と第三木曜日の定例活動日および臨時活動日に「トトロの森で何かし隊」（2023年3月末時点174名）のメンバーによる定期的な管理作業を行った。うち、芋窪の森（40・47号地）は協力団体と合同で管理作業を行った。2号地、チカタの森（3・15・48号地）、5号地、北野の谷戸（7・11・16号地）、12号地、砂川の森（14・27・42号地）、17号地、葛籠入の森（20・21・34・51号地）、24号地、30号地、37号地、46号地、芋窪の森（47号地）は協力団体（2023年3月末時点19団体）による管理作業が行われた。活動回数は合計150回、参加延べ人数

は1,224人となった。

その他、必要に応じて、チェーンソー等の動力機械を使用するトラスト地管理作業チームによる作業、業務委託による危険木・越境木の除去等を行った。

① 「トトロの森で何かし隊」の活動

- a. コロナ対策として人数制限を設けながら、トラスト地の管理作業を以下の日程で行い、活動回数18回、参加延べ人数317人、平均参加人数は、休日定例作業18人、平日定例作業17人となった。

日	場所	内容	人数	全数
4月3日	20号地	笹刈り ※雨天中止	0	0
4月21日	4号地	竹林整備 ※コロナ中止	0	0
5月4日	54号地	竹林整備・タケノコ掘り	17	17
5月5日	54号地	竹林整備・タケノコ掘り	12	12
5月19日	53号地	笹刈り・常緑樹伐採・残渣置場作り	20	20
6月5日	20号地	笹刈り	17	22
6月16日	4号地	竹林整備・草刈り	16	16
7月3日	40号地	常緑樹伐採・枯れ枝片付け・残渣置場作り ※猛暑日中止	0	0
7月21日	貉入	草刈り・常緑樹伐採	12	12
9月4日	29・38号地	草刈り・常緑樹伐採・ナラ枯れトラップ設置	14	14
9月15日	1・45号地	草刈り・枯れ枝拾い	20	21
10月2日	50・53号地	笹刈り・常緑樹伐採・外来種駆除	19	19
10月20日	47号地	笹刈り・ゴミ拾い・残渣置場延伸	16	28
11月6日	20号地	笹刈り	19	19
11月17日	貉入	草刈り ※コロナ中止	0	0
12月11日	40号地	笹刈り・常緑樹伐採	26	38
12月15日	10号地	笹刈り・常緑樹伐採	14	14
1月9日	34号地	常緑樹伐採・残渣置場作り	21	23
1月19日	29・38号地	笹刈り・常緑樹伐採・トラップ回収	21	21
2月5日	57号地	トトロのふるさとゴミ拾い・57号地見学会	19	22
2月16日	20号地	笹刈り・枝の片付け	17	17
3月16日	54号地	竹林整備	17	17

※全数は合同作業時の協力団体等の参加人数を含めた人数

- b. 少人数での臨時作業を以下の日程で行った。

日	場所	内容	人数	全数
3月15日	51号地	湿地の泥出し	4	10

- c. ボランティア登録説明会を4月24日、10月23日の計2回開催した。(計39人)

- d. 見まわり隊によるトラスト地の見まわりを行った。

- e. 3月5日に交流会(意見交換会)を実施した。(26人)

② 協力団体によるトラスト地の管理作業

トラスト地の管理作業を以下の通り行い、活動回数 105 回、参加延べ人数 734 人となった。

- a. チカタ集いの会 (3 号地、15 号地、48 号地) 4 月 9 日ほか計 8 回
- b. リコーボランティアグループ (5 号地) 4 月 23 日ほか計 6 回
- c. 北野の谷戸の芽会 (7 号地、11 号地、16 号地) 詳細は 2-2 (1) 参照
- d. ゆめとこファーム (24 号地) 4 月 17 日ほか計 3 回
- e. 北中ネイチャークラブ (12 号地) 4 月 3 日ほか計 5 回
- f. 地域の自然を考える会 (12 号地) 4 月 22 日ほか計 5 回
- g. 26 緑の会 (12 号地) 4 月 22 日ほか計 8 回
- h. ふらっと 12 (12 号地) 4 月 28 日ほか計 11 回
- i. 砂川流域ネットワーク (14 号地、27 号地、42 号地) 5 月 25 日ほか計 7 回
- j. 17 号佐々木隊 (17 号地) 4 月 10 日ほか計 3 回
- k. 耕し隊 (2 号地) 4 月 12 日ほか計 16 回
- l. 30 号地入間隊 (30 号地、46 号地) 6 月 18 日ほか計 6 回
- m. 37 号地ネコバス隊 (37 号地、45 号地) 5 月 9 日ほか計 8 回
- n. 山田ファーム (20 号地、21 号地) 4 月 8 日ほか計 9 回
- o. となりの緑地を守り隊 (47 号地) 4 月 28 日ほか計 7 回
- p. 菩提樹田んぼの会 (19 号地) 計 0 回
- q. 所沢高校インターアクトクラブ (20 号地) 11 月 19 日ほか計 2 回
- r. スーパーバッグ株式会社 (49 号地) 4 月 17 日ほか計 6 回
- s. NPO 子どもの木 (53 号地) 5 月 28 日ほか計 3 回

③ トラスト地管理作業チームによるトラスト地の管理作業

チェンソー、刈払機等を使用した管理作業を以下の場所で、毎月 1~15 回、計 105 回おこなった。

チカタの森 (3 号地)、5 号地、猪入の森 (6・23・25・35・36 号地)、7 号地、9 号地、10 号地、12 号地、13 号地、砂川の森 (14 号地)、16 号地、17 号地、18 号地、葛籠入の森 (21・26・34・41 号地)、狭山湖北の森 (22・29・38・50・53 号地)、24 号地、39 号地、芋窪の森 (40・47 号地)、43 号地、泉の森 (44・54 号地)、

トトロの森 56 号地でナラ枯れ対策と萌芽更新のための伐採作業をおこなった。

④ 案内板の設置等

- a. 以下の場所の案内板の作成および新設作業をおこなった。
56 号地、57 号地 ※新設看板作成までで設置は未実施
- b. 以下の場所の案内板の修繕および再設置作業をおこなった。
7 号地、43 号地、葛籠入の森

⑤ 地元ボランティア（協力団体以外）等の協力を得て、トトロの森の管理作業を以下の日程で行い、活動回数は 3 回、参加延べ人数 46 人となった。

日	場所	内容	人数
6 月 17 日	54	がくどう舎 KIRACCO 竹伐採	8
1 月 14 日	13・42・右岸公有地	GFN・ところざわ地域の自然グループ 草刈り・落葉掃き	15
1 月 21 日	14・27 号地	都立多摩南中等教育学校 落葉掃き	23

⑥ 業者委託によるトラスト地の管理作業

- a. 危険木・越境木の除去等のため、業者に委託して以下の日程で行った。

日	場所	内容
---	----	----

4月16日～	21号地	家庭菜園際4本の伐採
11月21, 22, 26, 28	24号地	隣接建物への越境木およびナラ枯れ被害木5本の伐採・処理
12月5, 6日	37号地	車道側のナラ枯れ被害木2本伐採
1月11日～	40号地	斜面上部の車道沿いナラ枯れ被害木4本伐採
1月18日～	2号地	ベンチ裏ナラ枯れ被害木1本伐採

b. 案内板の新設作業等を、業者に委託して以下の日程で行った。

日	場所	内容
8月5日	7号地	看板の再設置
8月5日	43号地	看板の再設置
10月11日	葛籠入の森	看板の再設置
2月17日	葛籠入の森	看板の再設置

⑦ トラスト地管理作業チームによるトラスト地以外の里山管理活動

良好な里山景観の保全を目的に、トラスト地以外の山林や農地の管理作業を計4回行った。

日	場所	内容
5月24日	入間市宮寺の農地	草刈り
6月3日	入間市宮寺の農地	草刈り
8月30日	入間市宮寺の農地	草刈り
9月15日	入間市宮寺の農地	草刈り

(2) 講習会

① 石積み講習会

6月9, 10日 伝統的な手作業の石積み工法について外部講師を招き学ぶ講習会を実施した。

② 応急手当講習会

5月8日 野外での怪我・事故に備えた、予防法、応急処置法を学ぶ講習会を実施した。

※里山管理技術講習会は講師体調不良のため中止

(3) 助成金の申請

所沢市みどりのパートナー活動支援事業補助金を申請

国土緑化推進機構「緑の募金公募事業」へ申請

(4) 里山部会会議の開催

里山部会会議を12回開催した。

2) 北野の谷戸保全活動の推進（地域保全活動部会事業）

地域保全活動部会は、2010年度から始めた北野の谷戸保全活動を継続して実施した。復田した田んぼでの稲作、開墾した畑での畑作、トトロの森7号地、11号地、16号地の管理作業など、ボランティアグループ「北野の谷戸の芽会」のメンバーと地元の方々の協力を得て、北野の谷戸の里山環境保全作業に取り組んだ。

(1) 里山保全作業等の実施

4月17日（日）説明会 北野の谷戸の芽会の活動の説明

4月24日（日）水苗代作り、たけのこ堀り、畑整備

6月5日（日）代掻き、7号地周辺竹林整備、里芋・綿花の植え付け

6月11日（日）苗取り
 6月12日（木）田植え
 7月10日（日）32号地管理作業、畑の草取り、綿花の植え付け
 8月14日（日）草刈り
 9月4日（日）草刈り、和綿の管理作業、11号地、32号地トラスト地見回り
 9月25日（日）稲架かけ作り、7号地竹切り出し
 10月9日（日）稲刈り、稲架かけ
 11月6日（日）脱穀
 11月19日（土）脱穀
 12月9日（金）籾摺り
 12月18日（日）11号地落ち葉溜め修復作業
 1月15日（日）7号地竹切り出し、11号地落ち葉溜め修復・整備作業
 2月26日（日）11号地落ち葉掃き
 3月12日（日）畑整備作業、川のかい掘り、茶の剪定

（2）関係機関との連携協議

2021年度に引き続き、所沢市による北野南里山保全地域のなら枯れ伐採が3月29日（水）から始まった。（所沢市）伐採の際は、林床をなるべく荒らさないように事前立ち合いの元、協議してから行う。必要があれば適宜連絡を取り合って意見をすり合わせる。

（3）部会会議の開催

地域保全活動部会を1回開催した。

（4）その他

コロナウイルスの影響が軽減されボランティアの受け入れを増やした。米の収量は45キロ

3） クロスケの家の活用と管理

「クロスケの家マスタープラン」のスケジュールに基づき、各部会・委員会等によって事業が進められた。また、教育機関や地域の団体等の学習の場としても活用された。

（1）一般公開

団体件数と見学者の月別内訳は下表の通りであった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	5	0	3	0	1	4	6	3	0	1	1	3	27
人数	116	20	407	252	395	328	382	1612	149	153	163	263	4240

※件数は団体の申込数。見学者数には一般開館・特別開館・無料開放含む

※入館料収入合計 1,024,000 円 特別開館参加費合計 114,000 円

- ・6月所沢若草保育園遠足・三ヶ島小学校学区探検対応
- ・10月、2月、3月あかねの虹保育園お散歩利用 学校・保育園等計12回利用
- ・11月所沢市みどりのふれあいウォーク協力 簡易トイレ設置
- ・2022年6月より事前予約制の一般開館を開始（入館料：500円/1名※小学生以上）
- ・母屋・蔵・茶工場を巡り基金の活動を知るきっかけとするための入館者向けクイズラリー実施。
- ・有料ガイドプログラムの特別開館は15回開催延べ136名参加
- ・10月29日、会員・地域住民向け無料開放日94名参加

（2）文化財保護関連

さいたま民俗文化研究所「所沢-魅力・不思議発見」（2022 年 6 月発行）に協力

（3）蔵の活用

クロスケの家特別開館の会場として活用、一般開館開始に伴い蔵展示物をリニューアル。

（4）整備及び管理作業

- ①バリアフリー対策として、介助用トイレまでの舗装工事、スロープ手摺取付けを実施。
- ②茶工場前水道バルブからの漏水修理。
- ③南側駐車場及び北側竹林境界の竹柵修理。
- ④グラウンドワーク（地域環境保全活動応援事業）助成金を活用し公式動画作成。

1－3．狭山丘陵の価値を広く伝えるための普及啓発事業

狭山丘陵の自然やそこに息づく文化などに関する情報を発信し、保全に向けた世論作りをすすめた。ナショナル・トラスト活動や里山保全に係る取材などに対して積極的に対応し、基金の活動への理解を促した。また、会員の増加に努めた。

（1）会員の状況

2022 年度末の登録会員は 1,337 人で、内訳は正会員 962 人、家族会員 173 人、賛助会員 53 人、こども会員 133 人、法人会員 16 社であった。前年度と比べ 105 人の増加であった。

（2）会報発行等の広報活動の充実

支援者向け機関紙『トトロの森から』を会員・寄付者に向けて発行した。

第 112 号発行 6 月 30 日

第 113 号発行 9 月 30 日（号外）

第 114 号発行 12 月 15 日

第 115 号発行 3 月 31 日

こども会員ニュースレターをこども会員に向けて発行した。

第 9 号発行 9 月 12 日

第 10 号発行 3 月 31 日

（3）狭山丘陵における体験活動の実施（詳細は、1-2（1）⑤参照）

企業や団体の協力を得てトラスト地の維持管理作業に取り組んだ。

がくどう舎 KIRACCO、GFN・ところざわ地域の自然グループ、都立多摩南中等教育学校

（4）ホームページの更新と運営

公式ホームページでは、イベントやボランティア情報などを定期的に更新し、閲覧状況の分析を行った。また、公式フェイスブックを運用し、若年層への PR に努めた。

公式 Instagram の運用を開始した。

（5）一般への広報活動

- ・トトロの森とクロスケの家ガイドツアー（4 月 30 日、5 月 21 日、7 月 9 日、1 月 22 日、3 月 18 日（雨天のため中止））
- ・クロスケの家イベント（どんぐりトトロづくり 6 月 11 日 6 月 25 日、10 月 1 日）
- ・イオン入間店でのイエローレシートキャンペーンへの参加 ※店頭活動は中止

（6）狭山丘陵フェアへの参加協力

狭山丘陵フェア実行委員会への参加 1 回（7 月 20 日）

狭山丘陵フェア 11 月 3 日

団体紹介パネル展示への協力

当日出展：どんぐりトトロづくり

（7）クラウドファンディング

「トトロの森をナラ枯れから救いたい」と題してトトロのふるさと基金（指定寄付金）への寄付を

募るクラウドファンディングを実施し、2022 年 12 月 16 日～2023 年 2 月 28 日までの期間に 328 人の方から 3,515,750 円の寄付金が集まった。当該寄付金は、その全額を本年度事業においてナラ枯れ対策費用等に使用した。

1－4. 里山の保全に関する環境教育の実施（環境教育部会事業）

狭山丘陵及びその周辺地域における自然環境や歴史的景観を維持・保全することの意義や大切さを広く社会に伝えることを目的として環境教育活動に取り組んだ。また、狭山丘陵の自然・歴史に関する資料集のまとめ作業を行った。

狭山丘陵いきものふれあいの里センターをフィールドとした取り組みと、トトロの森及びクロスケの家をフィールドとした取り組みを行った。

（1）狭山丘陵いきものふれあいの里センター指定管理事業

2022 年度の指定管理業務事業報告書（別紙）

（2）「総合的な学習の時間」等を活用した学校での環境教育への協力

①クロスケの家において総合的な学習の時間等への協力を行った。

6 月 23・24 日 三ヶ島小学校 2 学年学区探検

1 月 21 日 都立南多摩中等教育学校 「トトロの森環境整備と文化財見学」

②いきものふれあいの里センターにおいて、年間を通して学校に協力した。

（3）環境教育に関する講座・学習会

年中行事の再現をおこなった。

4 月 27 日 五月人形飾り

7 月中 七夕飾り

9 月 4 日 十五夜飾り

10 月 5 日 十三夜飾り

12 月 28 日 しめ縄飾りづくり

1 月 14 日 小正月・繭玉飾りづくり

2 月 23 日 雛人形飾り

（4）バリアフリー・プロジェクト

7 月 10 日 夕暮れ～夜の観察会「ホテル観察会」を糍谷八幡湿地で開催

事前準備として所沢市ろう協会メンバーとの打ち合わせ・糍谷八幡湿地保存会会長との打ち合わせ。

（5）環境教育部会会議の開催

環境教育部会会議を 6 回開催した。

4/9、5/29、8/21、12/3、12/28、3/12

1－5. 狭山丘陵における自然環境等に関する調査及び情報収集事業

1) 里山の自然環境に関する調査・研究（調査部会事業）

狭山丘陵及びその周辺地域における自然環境の調査研究を行い、生物多様性等に係る価値の把握に努めた。また、トラスト地の適切な管理方針策定のための提言を行った。

（1）狭山丘陵の自然環境調査の実施

① トラスト地とその周辺の動植物調査等を 23 回行った

② トラスト地で複数回ナラ枯れ状況調査とトリコデルマ菌を使ったナラ枯れ対策実験を行った

（2）講座・勉強会

① 東川護岸工事についての勉強会を開催

- ② トラスト地測量方法についてのレクチャーを受けた
- ③ 埼玉県希少野生植物についてのオンライン勉強会に参加
- (3) 調査部会の開催
調査部会を3回開催
- (4) 自然環境調査報告書等の発行・協力
自然環境調査報告書第17集を発行
- (5) 管理方針の提案
泉の森「44・54・55・59号地」の管理方針案の提案

2) 狭山丘陵に関わる自然環境及び歴史的景観の保護並びにそれに関する情報収集活動

狭山丘陵の地域資源の保全に資する情報の収集をすすめ、必要に応じて関係自治体その他の団体との協議を行い、狭山丘陵保全のための活動を展開した。

- (1) 関係自治体、企業等との協議
 - ① 菩提樹池と周辺緑地に係る連絡会議に出席（会議：5月11日、9月16日、12月7日/管理作業：6月25日、11月19日、2月18日）
 - ② 所沢市みどりの審議会に委員として出席（7月14日）
 - ③ 野山北・六道山公園管理運営協議会に出席（7月18日、9月10日、3月4日/現地見学1月17日）
 - ④ 狭山丘陵広域連絡会に出席（2月9日）
 - ⑤ さいたま緑の森博物館保全活用協議会に出席（6月25日/協働作業1月21日、2月25日）
 - ⑥ 早稲田大学所沢校地B地区自然環境評価委員会に出席
 - ⑦ 「小手指ヶ原公園」の令和5年度事業化推進に関する要望書を所沢市に提出（1月24日）
 - ⑧ 狭山3公園管理運営協議会及び多様性事業連絡会に出席（9月3日）
 - ⑨ 30by30 アライアンス（自然共生サイト）について環境省に試行申請（2月27日）
 - ⑩ ナショナル・トラスト活動団体との協働に関する条例について所沢市と協議（8月6日/市長面会5月17日）
 - ⑪ 26号地近くで計画されている太陽光発電事業について業者と協議（5月27日）
 - ⑫ 砂川堀水辺保全・散策路整備事業についての要望書を所沢市に提出（5月11日、11月30日/説明会10月6日）
 - ⑬ 東川河川維持工事についての要望書を埼玉県に提出（7月6日、9月16日/打合せ3月14日）
- (2) 葛籠入湿地及び水源地に対する取り組み
水源地でのアカマツ・コナラ林再生の取り組み
アカマツ苗の育成、所沢西高校によるコナラ苗の育成
アカマツの植樹（2月17日）

1-6. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

公益財団法人としての適切な運営のために、理事会、評議員会を開催した。また、執行部会議等を開催して的確で迅速な意思決定を行うとともに、財政等に係る課題の検討を進めた。

ナショナル・トラスト活動や里山保全を進める関係団体からの照会・相談等への対応を行ったほか、様々なメディアからの取材等への対応、丘陵案内やシンポジウムへの参加などを実施した。

また、エコツーリズム大賞に応募し、優秀賞を受賞した。

その他、各事業の推進に必要な資金の一部をまかなうために、収益事業を行うとともに、各種助成金等の確保に取り組んだ。

(1) 理事会及び評議員会の開催

理事会：通常理事会 2 回（5 月 22 日、3 月 19 日）

臨時理事会 3 回（10 月 30 日）

評議員会：定時評議員会 1 回（6 月 19 日）

(2) 執行部会議の開催（4 回）

4 月 30 日、9 月 27 日、12 月 8 日、2 月 5 日

(3) 常任理事会の開催（11 回）

5 月 1 日、5 月 29 日、6 月 26 日、7 月 31 日、8 月 28 日、9 月 25 日、11 月 27 日、12 月 25 日、1 月 29 日、2 月 26 日、3 月 26 日

(4) 照会、相談等への対応及び活動広報等

基金の活動紹介と狭山丘陵の案内等を行った。

① 講演

5 月 早稲田大学人間科学部：NPO/NGO 論の講義

10 月 山口小学校 講座

10 月 埼玉大学基盤教育研究センター 講座：狭山丘陵における地域創生

11 月 子どもと自然学会（埼玉・所沢大会：報告）

3 月 日本弁護士連合会「環境法フィールドワーク」

卒業研究対応

・京都芸術大学通信教育部教養学科の学生 1 名

② 取材等への対応

5 月（さいたま民族文化研究所「所沢一魅力・不思議発見」）、7 月（ナビタイムジャパン「NAVITIME Travel」）、7 月（埼玉県広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」）、8 月（読売新聞、日本テレビ「News every」、フジテレビ「ニュース総局情報制作局」、日本政府観光局フランクフルト事務所）、9 月（日刊スポーツ、テレビ朝日報道局、所沢市観光ガイド、地球の歩き方埼玉）、11 月（埼玉県「みどりのポータルサイト」）、1 月（るるぶ埼玉、「川越秩父深谷鉄道博物館 24 狭山丘陵を歩こう」）、2 月（西武鉄道「Glutto Plus」）

③ 教材等への写真等の提供

株式会社日本入試センター「サピックス eco クラブ 5 年」

④ 丘陵案内

5 月 7 日（山田ファーム：狭山丘陵の動植物の観察）

11 月 26 日（子どもと自然学会・あこぎ GGA 里山の会：里山自然保護活動の研修）

1 月 21 日（都立南多摩中等教育学校：森の維持管理に関する講話等）

3 月 29 日 日本弁護士連合会「環境法フィールドワーク」

⑤ 環境省主催第 18 回エコツーリズム大賞に応募（優秀賞受賞）（12 月 19 日/表彰式 2 月 27 日）

2. 収益事業の実施

トトロファングッズ等の企画・製作・販売や出版物の販売等を行った。

① 収益事業検討会の開催（5 月 11 日、10 月 19 日）

② イベント等でのグッズ販売、外部委託販売

・所沢市みどりふれあいウォーク（11 月 5 日）

・秋期、協力者による出張販売（菩提樹田んぼの会、山口の自然に親しむ会、山口地区）があ

った。

- ③ 2022 年度新商品長袖 T シャツ（白・黒）の販売開始
- ④ 2023 年度新商品の企画、商品化
一筆箋（トトロ傘）
- ⑤ オンラインショップ TOTORO FUND SHOP の更新・運用を行った。
- ⑥ 株式会社ジブリパークへの卸売を開始した。
- ⑦ 市町村職員向け販売を所沢市にて 6 月 21 日、東村山市にて 7 月 6 日におこなった。
- ⑧ 夏季きょうされんカタログ販売事業において長袖 T シャツ（白）を、冬季きょうされんカタログ販売事業においてエコバッグ（抹茶）を販売した。

以上

２０２２年度
埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター
指定管理業務に係る事業報告書

自 ２０２２年４月 １日

至 ２０２３年３月３１日

埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター
指定管理者 公益財団法人 トトロのふるさと基金

(様式 1)

2022年度事業報告書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

1 管理業務の実施状況

「狭山丘陵の自然を通して自然について学習する機会を設け、県民の自然との触れ合いを推進し、自然保護思想の普及を図る」という設置目的を達成するため、自然観察会等の実施や館内展示、教育機関への環境教育支援などを行った。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、彩の国「新しい生活様式」安全宣言等の指示を受け、館内の消毒などの感染拡大防止のための取り組みを行った。

2022年度においては、下記の事項について特に配慮した管理を行った。

表1 令和4年度の新たな取り組み、充実点について

取り組み	実施内容
新型コロナ関連の取り組み	・彩の国「新しい生活様式」安全宣言に則した施設の運営。 ・自動検温機の運用。 ・毎日2回消毒液による館内拭き上げ。
イベント	・スマートフォンを使って非接触で行うクイズラリーの実施。(新規) ・未就学児童対象の『ひよこ探検隊』を再導入。
管理作業	・経年劣化した解説看板の盤面11枚の掲示データを作成。(新規) ・経年劣化した指導標の再塗装と盤面39枚の取り付け。(新規) ・センターエリアの柵や杭を33箇所修繕。
頒布物	・ボランティア団体堅香子の会の植物画を使い、身近な樹木を紹介する挟み込みクリアファイルを作成した。(新規)
その他	・カシノナガキクイムシ捕獲実験。 ・ナラ枯れ伐採木へのビニールシート被覆。 ・各管理地ならびにその周辺のナラ枯れ被害調査。 ・ナラ枯れ防止研修会の受入れ。(新規) ・ナラ枯れ防止のための薬品注実施。

(1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の実施

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、彩の国「新しい生活様式」安全宣言を順守し施設運営を行った。主な取り組みを表2にまとめた。

表 2 主な新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の実施状況

主な取り組み	内 容
基本事項	・ポスターや園内巡視による密集・密接の防止。 ・咳エチケットやマスク等の着用等をポスターや看板、ホームページにより周知。 ・講義室収容人数の縮小。
飛沫感染リスクへの対応	・窓口や館内テーブルに透明アクリル板の設置
接触感染リスクへの対応	・玄関に自動検温機を設置。 ・手洗い啓発チラシの掲示。 ・出入口に消毒液を設置。 ・1日2回の館内消毒の実施。 ・施設出入口の常時開放。 ・講義室、事務所の常時換気。
職員の衛生対策	・職員の出勤前の体温計測。 ・職員のマスク着用。 ・植物画講座などではシリコン手袋を装着。
イベントや展示	・三密を避けるイベントを企画。 ・団体対応では複数回に分けて対応。 ・触れる展示の縮小。

(2) 自然観察会等の実施

① 自然観察会等のイベント実施

新規企画として『あるいて！さがして！スタンプラリー』を、重点企画として『ひよこ探検隊』行った。『あるいて！さがして！スタンプラリー』ではコロナ禍を意識し、三密を避け、距離を保ったまま非接触でクイズに回答できる大きな二次元コードや、屋外の活用など出来る限りの対策を行い、家族ぐるみで楽しめる内容とした。『ひよこ探検隊』では、コロナ下で減ってしまった未就学児童の交流を目的に、内容を模索しながら実施した。

また、定例のイベントとして『初めての自然観察会』や『基礎から学ぶ植物画講座』などを実施した。イベント実施状況は表3に、詳細の資料(様式5)にまとめた。

表3 イベント実施状況

イベント名	内 容	参加人数	回数
ひよこ探検隊	未就学児童とその保護者を対象にした自然観察会を実施した。	6	1
初めての自然観察会	小学生と保護者を対象にした入門的な観察会を実施した。	78	6
基礎から学ぶ植物画講座	草花を画用紙に再現することで、植物の生態への理解を深める講座を行った。	166	13
植物画講座中級編	基礎から学ぶ植物講座の中級編講座を行った。	125	13
狭山丘陵自然観察会	狭山丘陵の自然への理解を深めるために、一部、専門家を招いて実施した。	165	9
地域公共施設との連携イベント	地域の図書館や公民館とイベントを共催して行った。	78	3
里山体験講座	昔の里山の暮らしや年中行事等の文化・習俗を体験する講座を行った。	65	5
いきふれボランティア募集・養成講座	ボランティア募集の説明会と養成講座を実施した。	19	3
狭山丘陵出前センター	イベントなどに出張して狭山丘陵に関する展示を行った。	2,810	9
ガイドウォーク	申込なしで当日参加出来る観察会を行った。	232	26
環境教育活動の支援	教育機関からの依頼に応じ、環境教育活動への協力や支援を行った。	1,917	32
企業や行政との連携イベント	里山管理作業やリース作り、企業研修を実施した。	2,872	8
狭山丘陵ミニトーク	団体来訪者からの依頼に応じ、パワーポイントや動画を使って解説を行った。	60	1
あるいて！さがして！スタンプラリー	スマートフォンを使い非接触で行うスタンプラリーを実施した。	72	1

※延べ：130回 8,665名 中止なし

② 団体利用者への自然解説ならびに環境教育支援の実施

幼稚園や保育園、小学校、中学校、大学、一般団体などの利用及び施設見学者に対し、センターエリアのガイドやレクチャーなどを行った。特に、小中学校へはワークシートを使った観察会や学校への職員派遣を行った。小中学校や大学への環境教育支援については、表 4 のとおりであり、詳細を資料(様式 5)にまとめた。

表 4 団体利用対応受入状況

区 分	幼稚園 保育園	小学校 中学校	高 校 大学等	一 般	合 計
利用回数	53 回	23 回	4 回	60 回	140 回
利用者数	850 名	1,985 名	77 名	4,924 名	7,836 名

③ インターンシップの受け入れ

環境教育に必要な実践能力を育成するためインターン生を受け入れた。(表 5)

表 5 インターン生受け入れ実施状況

学校名	実施日	人 数	内 容
所沢市南陵 中学校	11/30～12/2	5 名	園路巡回や柵管理、展示作成など
東京農業大学	9/8～9/11	2 名	イベントの補助や館内解説、展示物作成、 Facebook を使った情報発信など
埼玉大学	10/13～2/5	2 名	公園管理やイベントの補助、Facebook を使った 情報発信など

(3) 展示、解説について

① 展示について

野外でのマナーを普及啓発するため、植物の盗掘や犬の散歩、野生生物の餌付けに関するポスター展示を実施した。また、『シダ植物展』や『カブトムシ展』など季節に応じた生態展示を 10 回、映像を使った展示を 2 回行った。地域公共施設との連携では、所沢図書館や所沢市役所とも展示を行った。詳細を参考資料 2 にまとめた。

② 館内解説の実施

新型コロナウイルス拡大防止措置を講じながら、自然情報の説明やウォーキング地図の提供等を行った。詳細を表 6 にまとめた。

表 6 利用者への情報提供人数

内 容	人 数
自然情報、イベント案内、周辺案内、自然一般の相談など	2,350 人

(4) 広報活動

① 情報提供

彩の国だよりや市報、雑誌やミニコミ誌等にイベントや自然情報の提供を行った。また、FM 茶笛 (コミュニティーFM) に、毎月電話出演し自然情報等の発信に努めた。

マスコミへの出演や取材協力、掲載実績等の実施状況は以下の表 7 のとおりである。

表 7-1 マスコミへの出演、取材協力

種別	番組名	回数	内 容
ラジオ	FM 茶笛 (77.7MHz) とれたてラジオ	12 回	毎月第二木曜日センターの自然情報や見所案内、イベント情報を放送。
	FM 茶笛 (77.7MHz) お出かけステーション	5 回	土曜日センターの自然情報や見所案内、イベント情報を放送。

※延べ 出演回数:17 回

表 7-2 新聞や各種情報紙への掲載実績

冊 子	発行地域	形態	発行団体	掲載回数
広報ところざわ	所沢市	市報	所沢市	12 回
武州路	埼玉県	雑誌	株式会社富士フィルム	12 回
西埼玉ぱど	西埼玉	冊子	株式会社西埼玉ぱど	10 回
彩の国だより	埼玉県	県報	埼玉県	6 回
読売新聞	埼玉県	全国	株式会社読売新聞社	1 回
るるぶ埼玉 '24	全国	冊子	株式会社 JTB パブリッシング	1 回
地球の歩き方 日本	全国	冊子	株式会社学研プラス	1 回
地球の歩き方 埼玉	全国	冊子	株式会社学研プラス	1 回
彩ニュース	全国	WEB	有限会社アイ工房	1 回
埼東よみうり	埼玉県東部	冊子	株式会社よみうり地域サービスセンター	1 回
ナビタイムジャパン	全国	WEB	株式会社ナビタイムジャパン	1 回

※延べ 掲載回数:47 回

表 7-3 マスコミ等への情報提供

マスコミ紙	回数	内 容
西埼玉ぱど	12 回	イベント募集のお知らせ
読売新聞	5 回	自然情報やイベント情報
東京新聞	2 回	図書館との取り組み
NHK さいたま	1 回	イベントの紹介

※延べ 20 回

表 7-4 イベントチラシの作成実績

チラシ	数量	内 容
年間観察会チラシ(A5)	3,000 枚	自然観察会を周知するために、県内外に広く配布。
イベント告知ポスター	28 枚	イベントやボランティア募集などを周知するため、センター壁面を貼りだした。

②広報紙等の発行と配布

「いきふれ通信」を年4回計12,000部発行し、所沢市内全ての小学校と図書館、主な埼玉県内の博物館や資料館、首都圏の関連自然施設等83箇所に配布した。

③センターホームページの運営

イベントの予定や実施状況などを知っていただくため、ホームページや Facebook の運営を行った。また、ホームページ改ざん防止のため、システムの脆弱性の対応や安全性の確保のため、基本ソフトの定期更新や管理などに努めた。ホームページの更新回数は表 8、閲覧状況は表 9 のとおりである。

表 8 ホームページ更新

内 容	更新回数
自然情報、イベント予定・報告、ボランティア活動報告など	213 回

表 9 ホームページへの閲覧状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
月 間 閲覧数	3,382	3,362	3,092	3,599	3,282	2,711	2,521	2,268	1,847	2,384	2,224	2,304

※累計 32,976 回

(5) 関係団体との協働

①埼玉県狭山丘陵いきふれの会

ボランティアの募集説明会や養成講座を開催し、今期新たに 6 名が会員に加わり、全登録者は 29 名となった。センター管理地の各スポットエリアを中心に、年間を通して定期的な巡回や行事補助、自然情報の収集に協力頂いた。活動状況は表 10 のとおりであり、詳細を参考資料 3 にまとめた。

表 10 ボランティアとの活動実施状況

主な活動分野	実施回数	参加者	主な内容
巡回・情報収集	9 回	29 名	各スポットの巡回や自然情報の収集
行事補助	13 回	20 名	自然観察会などの補助
作業会	8 回	46 名	外来種除去作業や道標整備

※(全体会議、その他)13 回 91 名 延べ活動数:43 回 延べ人数:186 名

②「堅香子の会」や「ふれ炭会」との協力

- ・堅香子の会：植物画講座への講師派遣や植物画の原画借用協力を頂いた。
- ・ふれ炭会：炭焼き体験に関する学生団体の受け入れや間伐材の有効利用などに協力頂いた。

③ 地域の企業や市町村、自然ふれあい施設等との連携

入間市役所や早稲田大学自然環境調査室へ講師派遣やイベント協力の依頼を行った。また、所沢市生涯学習推進センターや狭山丘陵観光連携事業推進協議会、狭山丘陵フェア実行委員会、東京都生物多様性事業連絡会に参加し、関係機関との情報交換を行った。主な地元企業や市町村との連携は表 11 のとおりである。

表 11 主な地元企業や市町村、自然ふれあい施設との連携

団体名	イベント名	実施日	参加者	内 容
所沢市	所沢市環境ギャラリー トコロの森ミュージアム	9/21～ 9/29	2,800 名	所沢市役所ロビーにて展示し 解説を実施。
社会福祉法人 皆成会	クリスマスリース作り	12/20	45 名	園地管理で出た材を使いリース作り を実施。
西武鉄道株式会社	里山の落ち葉と焼き芋	2/4	25 名	里山管理作業で落葉掃きとササ刈り を実施。
株式会社丸九	施設視察	2/10	2 名	環境学習事業を視察。

(6) 運営協議会の開催

当センターの円滑な管理運営の推進と、施設の有効活用を図るために、埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター運営協議会を 11 月と 3 月に開催した。

- ・協議会委員：学識経験者、地域団体及びセンターボランティア団体の代表者、地元学校長等 計 10 名
- ・協議事項：事業実施状況、自主事業へのアドバイス、管理運営の方向性等について

(7) 施設の維持管理

①保守点検業務

施設の維持管理（夜間警備や空調設備、消防設備の保守点検、施設の清掃）については、それぞれの専門業者に委託することにより適正な管理を行った。

②地震や火災などの対策

全職員参加の通報訓練や消火訓練、避難誘導訓練、AED を使った心肺蘇生訓練を行った。また、自然ふれあい施設における地震発生時の対応マニュアルや緊急時の対応マニュアルを読み合わせ、机上での模擬訓練を行った。

③園地管理

日常的に管理地内を巡回し、定期的な草刈りや植栽木の剪定、外来種の引抜き、樹木の伐採（緊急性の高い危険木）、劣化木柵の交換、階段ステップの修繕、卓上ベンチの清掃などを行った。また、以前イタズラが続いた北東屋には、注意看板やダミーライブカメラを引き続き設置した。主な実績は表 12 のとおりである。

表 12 取り組み内容

場 所	項 目	数 量	内 容
センターエリア	外来種の引抜き	7 回	セリバヒエンソウ抜き。
	杭と横木(木柵)	33 本	破損柵を交換。
	草刈り	27 回	園路や施設屋根の除草。
	盤面更新	1 基	解説看板の盤面を更新。
スポット 2	草刈り	3 回	園路の除草。
スポット 3	草刈り	2 回	園路の除草。
スポット 5	草刈り	2 回	園路の除草。
スポット 2～3	指導標盤面	39 枚	指導標盤面を更新。
スポット 1～5	解説看板データ	11 枚	解説看板の盤面データを作成。

(8) 災害時等の緊急時の対応

大型の台風接近の際は、施設玄関付近への土嚢の設置や園路上空の掛かり枝の除去などを実施した。また、緊急対応に備え、関係機関への事前連絡やチェーンソーなどの備品の用意を行った。台風通過後は、速やかに施設と管理地を巡回し園路通行の情報の収集と安全確保に努めた。園路情報は、ホームページを通じて周知を図った。

(9) その他の自主事業

① 頒布物について

狭山丘陵の自然の素晴らしさを伝えるため、堅香子の会の植物画を使い身近な樹木を紹介する「挟み込みクリアファイル」を作成した。また「狭山丘陵いきものふれあいの里の植物」や「野鳥ハンドブック 水辺編、里山編」、「植物画ハガキ」、「植物画一筆箋」、「シダ植物ポケット図鑑」の頒布などを行った。

② 萌芽更新完了後の追跡調査

身近なみどり保全創出事業にて所沢市が実施したセンターエリアの萌芽更新地区の植生調査を6回行い、168種(草本44種、木本65種、シダ、コケ4種)を記録した。結果を管理作業の参考にするために、所沢市みどり自然課へ報告を行った。

傾向として、樹の成長に伴い、草本が減り、好光性の木本の淘汰も始まっている。

③ ナラ枯れ防止のための取り組み

カシノナガキクイムシが媒介する「ナラ菌」によって引き起こされるコナラのナラ枯れが狭山丘陵で広がりをみせている。早期に対応を図るために、カシノナガキクイムシの捕獲と被害調査、一般周知のための研修会を受け入れた。主な実績は表13のとおりである。

表 13 取り組み内容

場 所	項 目	数 量	内 容
センターエリア	カシノナガキクイムシ 捕獲実験	3 基	飛翔時期を確認。
	ナガ枯れ伐採木への ビニール被覆	14 箇所	カシノナガキクイムシ飛散 防止のため実施。
	ナラ枯れ研修会	1 回	拡大防止策等の講習
各 管 理 地	ナラ枯れ被害木調査	6 箇所	各管理地にてナラ枯れ確認

2 施設の利用状況

① 利用者別利用状況

区分	大人			小人(中学生以下)			合計
	一般	団体	計	一般	団体	計	
入館者数	10,522	8,460	18,982	2,130	4,204	6,334	25,316

② 施設有料利用状況（利用施設区分別）

区 分	講義室	展示室
利用件数	13 件	0 件
利用者数	259 人	0 人